

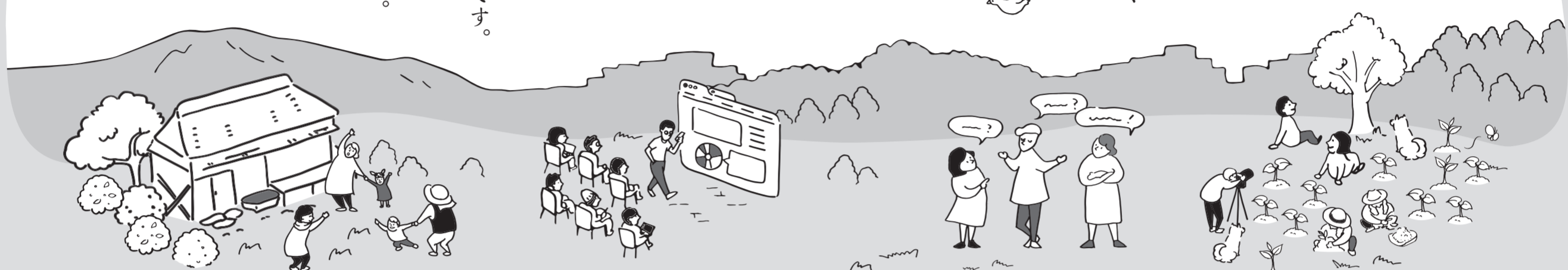
視点を変えれば、 世の中は変わる。

たとえば
半分だけ水の入ったコップを見て、
もう半分しかない、と思うか、
まだ半分もある、と思うか。

視点を変えれば、
世の中の見え方は変わってきます。
当たり前だと思っていたことでも、
違う視点から見つめ直してみると、
新しい発見があることがあります。

Rethinkフォーラムは、
一人では気づけない
新しい視点に気づくことで、
地域活性化のきっかけを見つける場です。

視点を変えれば、世の中が変わる。
地域が変わる。
未来を変える発見は、
意外と身近に
あるのかもしれない。



「Rethink フォーラム～視点を変えれば、世の中は変わる～」(北日本新聞社主催、富山県など後援、Rethink PROJECT協賛)が、10月31日に富山市のANAクラウンプラザホテル富山で開かれ、第1部はタレントで映画コメンテーターのLiLiCoさんが「自分らしい生き方が実現できる視点」と題してトークを展開。第2部は「女性が活躍できるウェルビーイングな地域づくり」をテーマに、新田八朗富山県知事とウェルビーイング研究者の前野マドカさんが加わり意見を交わしました。約110人が来場し、熱心に話に聞き入りました。要旨を紹介します。

ゲスト



リリコ
LiLiCo氏 (タレント・映画コメンテーター)

演題:「自分らしい生き方が実現できる視点」

1970年スウェーデン・ストックホルム生まれ。18歳で来日し、1989年から芸能活動をスタート。情報番組で映画コメンテーターとしてレギュラー出演し、以降、ラジオやイベントへの出演や、アニメの声優やナレーション、俳優などマルチに活躍中。ジュエリーのデザイン、プロデュースも手掛けるなど活動の幅を広げている。

感謝も不満も言葉にすることが大切

—富山とのご縁を聞かせてください。
デビュー当時富山市の温泉施設で歌謡ショーに出演し、手拍子をいただきながら歌っていました。当時、お世話になった人に食事に連れて行ってもらったのですが、この時頂いたホテルイカのおいしさを超えるものはありません。今まで食べたものの中で一番です。

★女性活躍の難しさを聞き、強くなろうと決意

—スウェーデンご出身です。来日のきっかけは何だったのでしょうか？

父はスウェーデン人、母は東京都葛飾区出身です。打ち合わせで「富山は日本のスウェーデン」(集英社新書)という本があると聞き、富山への興味が一層高まりました。スウェーデンは福祉が充実した国です。日本と違いを感じるのは、子どもたちの自立が早く、大人たちも子どもとして扱わず大人と同じように接することです。日本では子どもに話しかけていても、親の顔を見たり何も言えなくなったりする子がいますが、自分のことを自分で考えるのは大事なことです。自分で考えないまま大人になり社会に出ると、大変なことがあったときつぶれてしまいます。

18歳で来日しました。昔の日本を知る母は「日本へ行っても、女性が仕事をやる場所がありません、女性が生きていくのは難しいかもしれない」と言いました。しかし私は日本で芸能人になると決めていましたし、女性だから駄目だと言われたとき

に、どう立ち向かい、立ち上がるか、体で感じないと分からないというもありました。35年が過ぎ、経験を重ねた中で、母の言ったことも本当なのだと思います。母はスウェーデンで機械設計士の仕事をしていたのですが、職場には母と受付1人以外に女性はおらず、誰よりも仕事が早くても外国人で女性だったため、給料は同僚の半分だといつも聞かされてきました。母のそばにいて「強くなるしかない」と感じていました。スウェーデンですらそうだったのです。

この10年で日本は変わりました。しかしモラハラやパワハラという言葉が生まれても、気づかずに口にする人もいたり、いまだに我慢は美学だと考える人もいます。仕事のできる女性を、男性が受け入れることも大切です。赤ちゃんを背負ったりベビーカーを押したりする男性が増えました。私は「イクメン」という言葉を、日本から無くしたいと思っています。父親が自分の子の面倒を見るのは当然ですから。

★映画から人生のヒントが見つかる

—「王様のランチ」(TBSテレビ)の映画コーナーを担当されています。

23年目に入りました。映画紹介では「こんな気分のときは、こんな作品を見たらいいよ」という分かりやすい伝え方を続けてきました。映画は見終えてから自分の中に生き続けるので「映画って何ですか？」と問われると「人生に役立つヒントを運んでくれる娯楽であり、心を潤してくれるもの」と答えています。番組にはアシスタントディレクターが50人いて、そのうち48人は女性です。女性のプロデューサーとスウェーデンの

実家に番組で行った時、母から女性の活躍が難しいと聞いていた父が「日本も変わってよかった」と言って喜んでくれました。

半分冗談で半分本気なのですが、私の30%は樹木希林さん、10%はトム・クルーズです。トム・クルーズはファンやスタッフに対する接し方が素晴らしいです。希林さんと私はマネージャーがない共通点があります。映画「ツナグ」のインタビューでお会いしたとき、亡くなった後に後悔しないように「ありがとう」「ごめんない」や、不満に思っていることをその場で伝えておくとおっしゃられていました。夫婦やパートナーと一緒に暮らしていると不満は出ます。黙ってれば丸く収まることもありますが、話合せてクリアにすること、嫌われる勇気を持つことも大切です。同じく「ありがとう」の気持ちも伝えなくてはなりません。コミュニケーション不足だと感じる場面は、職場にも家庭にもあります。まずは、言葉にしてみましょう。

テーマ「Rethink富山～女性が活躍できるウェルビーイングな地域づくり～」

パネルディスカッション出演者 LiLiCo氏 (タレント・映画コメンテーター)、新田 八朗氏 (富山県知事)、前野 マドカ氏 (EVOL株式会社代表取締役CEO)

モデレーター 松井 康真氏 (フリーアナウンサー)

「幸せ人口1000万人～ウェルビーイング先進地域、富山～」についてどのように感じられますか？

LiLiCo 社会に出たいと思う女性には出ていただきたいです。女性就業率72%(全国3位)と数字が紹介されましたが、残りの3割は働く気がないのか、または働きたくても場所がない状況なのかも目を向けたいといけません。

新田 知事になる前は企業の経営者としてGDPを上げるために働いてきましたが、それだけで本当に幸せなのかを考えていました。知事になり、富山県成長戦略の中核にウェルビーイングを据えて様々な事業を行っています。県民意識調査の結果も踏まえ、ウェルビーイングを測る独自の指標も作りました。ウェルビーイングを向上させることで、富山県の関係人口を1,000万人に増やせようと思っています。

前野 ウェルビーイングは自分がいい状態であることが大事で、そういう人たちが集まり、家族や地域社会にとってもいい状態を目指します。家族や仕事仲間、地域の人々が、互いに思い合っって応援し合いながら過ごすことや、指標で自分の心の状態を知るのも大事です。

女性が活躍できるウェルビーイングな地域とは？

新田 本県では15～34歳の女性の数が減っている状態が長年続いています。やりたい仕事がないため東京に向かう人もいますが、また戻って来てもらえるような富山にしたいと思っています。

県内の企業経営者にも状況を伝え、女性が働きやすく、男性が育児休業や育児参加しやすい会社づくりができるよう進めています。

前野 女性は出産・子育てや介護への関わりが大きく、それがキャリアにも影響し、自分の思い描いていたビジョンと違ってくることもあります。誰かのために台無しにするのではなく、自分にとってや家族にとってのウェルビーイングを考え、それぞれのいいところを生かしながら生活や仕事をすることが大切です。

LiLiCo こんなにも多くの女性が富山で働き、活躍しています。しかし良い部分だけでなく、県外に転出した若い女性たちが不満に思っていることや富山に戻らない理由にも目を向けてほしいです。

富山の魅力について

新田 様々な魅力度ランキングがありますが、富山の順位はどれも真ん中くらいで、富山の強みを一点突破で発信するため寿司をフックに認知度を向上を図ろうとしています。寿司はそれを構成する魚、米、器、酒など広がりがあります。県民は富山の食べ物に慣れてしまっていますが、県外の人にはそのレベルの高さを絶賛されています。このことをもっと発信していきたいですね。

LiLiCo 「発信が上手じゃない」と言うことで終わってしまうので、行動力を持ち続けるのが大切です。皆さんが当たり前だと思っていることも、客観的に考えれば富山の魅力と考えられる

はずで、自分の近くの当たり前を見直す時間を持つてください。

前野 当たり前と思っていることでも口に出すと、幸せが増えます。そして幸せは伝染するという研究結果もあります。日々の小さな幸せを口に出して、幸せを感じる心を育てて発信すれば、関係人口が増えるのではないのでしょうか。

ウェルビーイングを実践するためのアドバイスやメッセージをお願いします。

LiLiCo 自分の幸せは面倒なことや怖いこと、リスクの向こう側にあるので、それを乗り越えなくてはなりません。来場された皆さんから、富山に興味がある、富山を良くしたい、好きだという気持ちを感じました。これから富山の力になっていきたいと思っています。

新田 富山県の特設サイトで設問に答えると、ご自分のウェルビーイングの状態を花の形で表示でき、その変化を見ることが出来ます。自分だけでなく周りの人、社会全体のウェルビーイングのことも考え、行動で目指していきたい。「ウェルビーイング先進地域、富山」を目指していきたいです。

前野 私たちは誰もが幸せになるために生まれてきました。日々の中からも幸せを感じて育てていくことが大切です。心と体で感じていることを指標を使って認識すれば、より幸せを感じることができるようになるでしょう。毎日の行動を意識し、ウェルビーイングを少しずつ広げていっていただければと思います。

